

また明日！

BONELESS
PLANTER

骨なし 灯籠

脚本・監督・編集

木庭撫子

水津 聡 まひろ 玲希

高山 陽平 たむらもどこ にしやうち良 知江崎ハルカ

草野 通 政木ゆか 山本直人 杉本凌士

2026
8.28(金)~9.10(木)

港南台シネサロン
(神奈川)

プロデューサー：木庭民夫 撮影：萩原章、山野通郎 照明：原田拓海 照明アドバイザー：木村中哉 音楽：志城慶香 編集アドバイザー：石松義明 音響設計：尾方航 クラウド：黒石信調
録音：野中拓也、西野隆博、石井良亮 スタジオ録音：千葉一繁 撮影助手：関谷優人、古家彰 制作：村川智美、西山ゆうこ、岩本穂、岡村学 タイトル文字：市川雄夫 予告編音楽：豊田小太郎
華演奏：藤川いずみ スカール：上野弘喜 エンディング：山鹿市立山鹿中学校合唱部「おもいでアルバム」 「山鹿灯籠まつり」ポスター：鶴田一郎事務所
助成：公益社団法人 熊本県観光連盟 山鹿灯籠まつり実行委員会 後援：熊本経済同友会 熊本商工会議所 熊本県 一般社団法人 山鹿温泉観光協会
一般社団法人 平山温泉観光協会 菊鹿町観光協会 山鹿商工会議所 山鹿市商工会 一般財団法人 山鹿市地域振興公社 山鹿市教育委員会 山鹿市
企画・製作：熊本やまが映画プロジェクト

honenashi.com



第18回
トロント国際女性映画祭
最優秀初監督賞



第5回
チネチッタ国際映画祭
招待上映
観客賞第3位



October 2023
ロサンゼルス映画賞
最優秀初監督賞
最優秀予告編賞
俳優特別賞



台湾
2025桃園映画祭
招待作品



しっとりとした映像と静謐な風景、
夜の闇にほんのりと灯る山鹿灯籠の数々・・・

生と死という重いテーマが、これほど深く、
そして清々しく描かれている映画は
まれ稀ではないか。

姜尚中 熊本県立劇場館長

3か月前に夫を亡くし、生きる力も失ってしまいうような日々を過ごしていました。ラストシーンのセリフに「ああ、これは夫が私に言ってくれたのだ」と思い、涙がとめどなく溢れてきました。たくさん泣いて映画館を出たら心が少し軽くなっていました。(50代女性)

もう少し生きてみようと思いました
(30代女性)

何度でも観たくなる、初めての映画
(50代男性)

夫婦ともに涙なしでは観れませんでした
(50代女性)

亡き妻の遺骨を抱いて、彷徨う男がいた
辿り着いた場所で出会ったのは――

山鹿の美しさ、熊本の人の温かさ、
伝統の技術の素晴らしさ！(40代女性)

古き時代の佇まいを残す、熊本豊前街道の温泉町「山鹿(やまが)」元美術教師の男、市井祐介(49)は、祭りのポスターに描かれた「灯籠娘」に、妻・ゆかりの面影を見る。灯籠師見習い直樹(30)のもとで働き始めるが遺骨を手放せないまま、深い孤独と喪失感拭えない。

町を出ようと決めた祭りの日、ゆかりの双子の妹、あかりが現れる。

「あなたにお願いがあって」

千人灯籠を踊るためにこの町に来たという、あかり。彼女の目的とは――

大切な人を亡くしたあなたに届けたい
美しい涙と感動の物語

妻との時間をもっと大切にしたくなった
(40代男性)

2回観ると登場人物の心がより深く読み解ける
ロングラン納得(60代男性)



映画公式サイト
honenashi.com



Instagram



X



Facebook

8/29[土]・30[日] 両日ともに12:30～上映後
木庭撫子監督の舞台挨拶＆サイン会あり

※パンフレットご購入者に監督がサインいたします

8/28(金)～9/3(木) 12:30～

9/4(金)～10(木) 10:30～

バリアフリー日本語字幕付き上映
耳の不自由な方にも映画を楽しんでいただけます



神奈川県横浜市港南区港南台3-3-1 港南台214ビル3F
TEL045-831-3377 JR 京浜東北・根岸線 港南台駅より徒歩3分

